

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

健康づくりとまちづくりの融合による「歩くライフスタイルの推進(とほ活)」による、持続可能な都市の実現

- 【具体目標】 全人口に占める公共平均利用者数の割合の増加（令和6年度までに0.1%の増）
中心市街地における歩行者数交通1日の増加（令和6年度までに休日3,500人/日の増）

<PRポイント>

- ①【健康づくりとまちづくりの融合】
歩く行動がもたらす、健康とまちへの双方の効果に着目した全市的な戦略とアプリを通じた歩く生活の実現
- ②【キャッチコピー「とほ活」の普及】
市民への浸透を図るためのキャッチコピー「とほ活(=富山で歩く生活)」と官民連携による普及啓発の実現

<概要> 計画期間：～令和6年3月31日

<現状・課題>

- ・市民の多くが過度に自動車に依存した生活を送り、自動車を自由に使えない市民にとっては極めて生活しづらいまちとなっている。
- ・人口減少・高齢社会の本格的な到来を控え、平均寿命と健康寿命の乖離が進行し、将来的な社会保障費等の増加が懸念される。
- ・高齢者の外出機会の減少や行動範囲の縮小により、地域経済や活力、コミュニティの喪失が懸念される。

<総合的な取組内容>

「第2期 富山市まち・ひと・しごと総合戦略」基本目標
生活環境の一層の充実を図る
～すべての世代が安心して暮らせるまち～

<具体的事業>

■ 歩くライフスタイル推進事業

市民の歩くライフスタイルへの転換を促し、将来市民が健康で幸福に暮らす活力ある都市の創造に向けて、「とほ活」を通じた様々な取り組みにより、SDGsの実現を目指す。



歩く施策の推進
官民の連携



○スマホアプリ「とほ活」の開発 ～グッドデザイン賞2021受賞～



歩く、公共交通利用、イベント参加といったまちづくりに寄与する一連の歩く行動にポイントを付与し、健康づくりとまちづくりの相互を実現

○官民連携による「とほ活」の普及啓発

プロスポーツチームや地元の信用金庫などと連携し、イベントやポイントラリーの開催、従業員の「とほ活」アプリの利用促進などを通じた、歩くライフスタイルの普及を推進



○「とほ活」ベンチプロジェクト事業

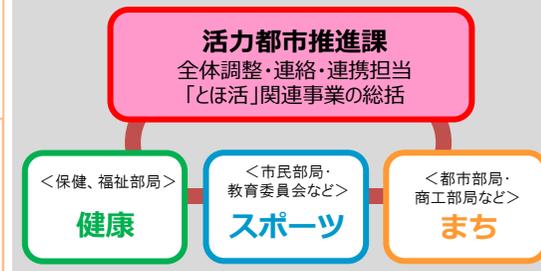
企業版ふるさと納税や寄付等を活用し、中心市街地等における主要な歩行動線上の道路や公園、公共施設の近く等に設置し、中心市街地の活性化や外出機会の創出、公共交通の利用促進に寄与



<継続的な取組を確保できる体制（図）>

《歩くライフスタイル戦略会議（富山市）》

富山市役所内において、部局分野横断的な組織を形成し、全市的な歩くライフスタイルの推進を総合的に連携・調整



協働・連携

《民間事業者・教育機関ほか》

- ・連携イベントやアプリの利用促進などの普及啓発に関する連携
- ・「とほ活」ベンチプロジェクトへの企業版ふるさと納税等による寄付
- ・高校や大学などの教育機関への講座や連携事業の実施 など

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先
市民生活部スポーツ健康課
- 地方スポーツ推進計画
第2次富山市スポーツプラン
- 地方版総合戦略
第2期富山市まち・ひと・しごと総合戦略
- 地域スポーツコミッション：なし
- ホストタウンの相手先：なし